

国交省が建設機械を追加指定 低騒音型発動発電機は7型式

国土交通省では、建設工事に伴う騒音・振動対策として、騒音・振動が相当程度軽減された建設機械を「低騒音型建設機械」及び「低振動型建設機械」として、それぞれの型式指定を3か月毎に追加指定を行っています。

今回、令和3年12月15日付で、低騒音型建設機械として、合計20型式の指定を行いました。併せて、同日付で告示しました。今回指定分を含めた累計型式指定数は6796型式となりました。

なお、今回、低振動型建設機械は申請がありません。

りました。

そのうち、今回指定を受けた「低騒音型発動発電機」は7型式でした。今回指定分を含めた累計型式指定数は1125型式でした。

この型式指定は、低騒音型建設機械及び低振動型建設機械の利用を促進することで、建設工事の現場周辺の生活環境の保全と建設工事の円滑な施工を図ることを目的として定めた「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき、平成9年から実施しています。

低騒音型発動発電機

※備考欄に『○』の印があるものについては、超低騒音型建設機械の標識（ラベル）を表示することができる。

指定番号	型式	諸元			申請社名	備考
6790	GV-9i-3	定格容量	0.9	kVA	(株)工進	○
6791	GV-16i-4	定格容量	1.6	kVA	(株)工進	○
6792	GV-30is-1	定格容量	3.0	kVA	(株)工進	○
6793	IEG2501	定格容量	2.5	kVA	(株)やまびこ	
6794	WG1800is	定格容量	1.8	kVA	和同産業(株)	○
6795	EU26i	定格容量	2.6	kVA	本田技研工業(株)	○
6796	EG1100	定格容量	1	kVA	京セラインダストリアルツールズ(株)	○

第3次排出ガス対策型発動発電機はゼロ

一方、同省では、建設現場の作業環境の改善や、機械施工が大気環境に与える負荷の低減を目的として、「第3次排出ガス対策型建設機械」の型式指定等を3か月毎に行っています。公共工事において当該建設機械等を活用し普及促進に努めています。

今回、令和3年12月15日付で、第3次排出ガス対策型建設機械として合計4型式の建設機械の追加指定を行いました。併せて、同日付で告示しました。今回指定分を含めた累計型式指定数は871型式となりました。

なお、今回指定を受けた第3次排出ガス対策型発動発電機、第3次排出ガス対策型空気圧縮機はそれぞれゼロでした。累計型式指定数はそれぞれ268型式、133型式と変わらず。

この型式指定は、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」（平成18年3月17日付国土交通省告示第348号）及び「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成18年3月17日付国土交通省大臣官房技術審議官通達）に基づき、平成18年から実施しているものです。